

2006.9 VOL.21



商工会報

みのわ

発行者 箕輪町商工会 発行責任者 会長 小林紀玄



梅雨の上がり際の豪雨が必ずといって良い程、毎年各地で大きな被害を出して来ました。これも地球温暖化の影響か、異常気象に世界中が悩まされ何処か遠くの事のように思っていたのに、まさか我が町にこの様な大水害が発生するとは正に想像を絶する光景がテレビに写し出されました。特に「暴れ天竜」決壊す！の報は衝撃的で遠くの親戚知人から「大丈夫か」の見舞いを頂きました。北小河内中村地籍の土石流被害の前では圧倒的自然の力に立ちつくすばかりでありましたが、町当局並びに関係各位の「正しい現状認識」と「何が大切か」の価値観に照らして「どうするべきか」の対策を素早く決断決定し総べての力を「災害復興」の一点に集中し、これに深い理解をもって応えた「みのわ町民」の英知に深甚なる敬意を表し併せて、被災された皆様にご心からのお見舞いを申し上げます。

人生 この紙一重の差

箕輪町商工会会長 小林 紀 玄



七月の梅雨前線豪雨は、天竜川に深沢川が合流する北

島地籍で天竜川堤防が決壊したため、松島区二千八百人に避難指示が出された。

また、竜東の北小河内中村地区は一瞬にして土石流に飲み込まれ、西部の里山が随所で崩落し、地元の人々は「山が動いた」というほどであった。

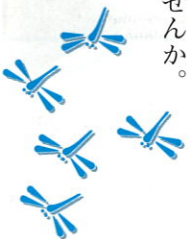
この惨状はテレビ画面で映し出され全国から安否の電話が殺到し、私のところへは外国から心配する電話もあつたほどである。幸い、人命に係わる事故もなかったことは、防災に対する行政の日頃の訓練や指示体制の確立が図られていたことによるものと感謝している。町の平成史に残る災害であり、自然災害の恐ろしさを知らされたものである。折りしも、十日後に控えた

「二〇〇六みのわ祭り」の最終準備に入っていたときでありましたが、納涼花火大会をはじめ全ての祭り行事を中止とした。花火の協賛金は全額返還することとなり、花火のキャンセル料も花火業者の理解でなにも無く終わった。

ふたつの話は対応の速さが功を奏したことで、機転を利かせた「人生この紙一重の差」があつたと感じている。

企業経営の研修などでよく言われることに、経営の基本は「よく観て、よく診る、そしてよく見る」ことであり、会社がつまらぬ風邪を引かないために、常に他と紙一重の差をつける気持ちでなくてはならないと指導される。

紙一重の差を持ち、厳しい環境の中ですが頑張ろうではありませんか。



商工会の副会長の職を拝命

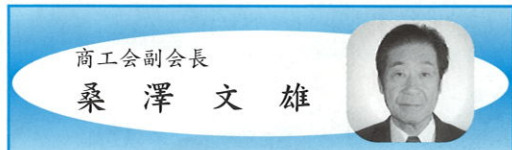
会員の脱退と云う「商工会離れ」は何に起因するのか、

二期目に入った訳でありまして皆様方の多大な御支援、御協力の程宜しく御願ひ致します。本来、副会長の立場は「会長の補佐」が主任務と考へて居る所で有りますが現在は其の他色々有りまして、行政の仕事も行事も度々参加する仕組となつています。

これも県や町の補助なくして「商工会の運営」は成り立たず仕方が無いと考える反面、町民皆んなで町政に参加する意味に於いて大変良い事と思ひます。

最近の商工会の運営は取り扱経済面に於いては非常に厳しいものがあります。県や町の補助と会費や手数料の自主財源を合わせても充分ではなく、当然各支部、各支会の活動に支障が生ずる事は仕方が無い事と思ひます。現在皆で知恵を出し合つて、費用の捻出を

と頑張つて居る所であり、会員の皆様が良いアイデアがありましたら商工会迄御一報御願ひ致します。又、現在商工会の一歩の課題は会員の増強が急務でありこの商工会でも、ネックの様であります。



商工会副会長

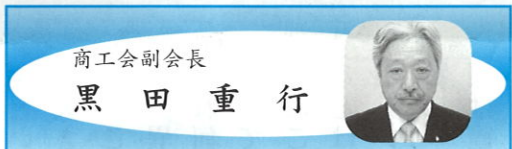
桑 澤 文 雄

げます。

事業の廃業もあるのでしょう、又会費の問題もある事と思ひますが、現在に於いて「会費諮問委員会」を立ち上げ検討中であり、やがて良い答が出される事でありましょう。その様な中で此の三年間皆様と一緒に頑張ってより良く、皆んなに愛される商工会を目指して頑張つて参ります。どうか宜しく御願ひ申し上げます。

この度箕輪町商工会の副会長と云う大変な大役を

仰せつかり、事の重大さに身の縮む思いであります。元より本会は先輩先達の皆様苦心を注ぎ大変な「苦勞の基營々と築き上げられた「歴史と伝統」を誇る本県内有数の総合的経済団体であります。又、七百有余名の会員を擁し各支部に於いてはそれぞれ役員さんを中心にして活発な諸行事を力強く推進されております。



商工会副会長

黒 田 重 行

本会を縁の下の力持ちとなつて支えて来られました方々の中にこそ本職に経験、資質共に相応しい方、又どうしても就いて頂きたい方が、居られるにも拘わらず、私如き本会に何一つ貢献も実績も無い者が就きます事は皆様にはさぞかし「ご不快の念」此れあるものと推察致しております。しかしながらこうして就任致しました以上は会の名誉を傷付ける事の無いよう粉骨砕身一生懸命努力する事でお許し頂きお仲間に加えて頂けるものと考えております。どうぞ宜しくご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

右も左も何も解らないので抱負とて有りませんが、最近思う事は大量生産、大量消費の高度成長時代には「職人」は「職人仕事」などと云われ「品質管理」など「標準化」だとのかけ声で職場から追放されたものでした。しかし中国の台頭で日本の物作りの基本に帰ろうとの言わば「原点復帰」現象が何かヒントになればなどと考えています。それにしても「飲んでいれば大丈夫！」の話だったのにな。

役員紹介

平成十八年度の通常総代会
で、任期満了に伴なう役員改
選により次の方々が選任され
ました。



副会長
黒田重行



副会長
桑澤文雄



会長
小林紀玄



商業部理事
木下久



商業部理事
大槻金吾



商業部理事
竹腰公夫



商業部理事
河手昌則



商業副会長
上島喜交



商業部会長
池田章



工業部理事
佐々木勝一



工業部理事
福澤吉久



工業部理事
深澤功



工業副会長
向山淳



工業部会長
竹内眞治



商業部理事
田村勉



北部支会長
小松良輝



建設理事
白鳥邦夫



建設理事
堀口隆



建設副会長
三澤邦治



建設業部会長
赤羽広治



工業部理事
山本秀昭



監事
小林一雄



監事
関忠臣



女性部長
小口幸子



青年部長
藤森一哉



南部支会長
清水静



中部支会長
関嘉重

部長さんの抱負

『情報交換の場』

工業部長 竹内 眞治

この度、工業部長という大役を仰せ付かりました。私のような若輩が：：と悩みつつ、自問自答を繰り返しています。

前期三年間、理事をさせて頂き、工業部会報を、町内全戸に届くべく、二ヶ月に一度新聞の折込みに入れ、配布をするという活動を始め、現在も続けています。

私は、多くの方に会員の方々の会社、事業を理解して頂き、身近かな所から関係が広がり、多くの情報が交換できるようになるというところが、商工会の大きな役割でもあると認識し、少しでもお役に立てればと思っています。

非常に力強い理事の方々の多くの意見を聞きながら、商工会に入会して良かったという意見が少しでも多く聞かれるよう、努力して行きたいと思っています。

『市街地の活性化』

商業部長 池田 章

秋風の立つころとなりました。先日の七月豪雨災害で、被害に遭われた皆様に御見舞いを申し上げます。この度、商業部の部長になりました池田と申します。洋服店を営んでいます。

先日編集委員の方が見えて、「抱負」について原稿との事ですが、私くし針を持つ事は慣れていますが、ペンを持つ事はいたって苦手で弱りました。

商業部の活動ですがどうしても中心市街地の活性化ができませんが、他の地域の活性化のできる事業も必要ではないかと思えます。十八年度の事業に従って進めてまいります。商業部の役員として微力ではありますが、最善の努力をいたす所存であります。何卒ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

『日々の励み』

建設部長 赤羽 広治

建設業部の部長を仰せつかりました。諸先輩方の創って下さった伝統を重んじ、歴代部長に

習って、時代にあった運営を行っていきたくと考えています。近年我々を取り巻く建設業界はめまぐるしい変遷を繰り返しています。特に我県我町では入札制度が見直され、一時は建設業に携わる者はかなり困惑したのも隠せない一

面だったところですが、このよきな中いかに現実の厳しさを見つめ、日々の励みを見出し、邁進していく為、会員の皆様と共に、研修会や親睦会を通じて部会の一層の充実を計ることを念頭に置きたいと思っています。会員の皆様も是非とも我々の事業に、今更以上、御協力下さいませ。心からお願ひ申し上げます。微力な私ですが、会員の為になる建設業部を、目指す所存でありますので、重ねてお願い申し上げます。

支会長の抱負

『事業に御理解を！』

北部支会長 小松 良輝

北部支会長を務める事になりました、小松でございます。商工会の役員は、以前、建設部の理事としてお世話になった事がありますが、今回は支会長として会員皆様のご協力により三年間務めてまいりたいと思えます。支会の役割として、花火の寄付始め、共済の勧誘、商工会費の徴収など重要なものがありますので特に北部支会の会員の皆様には、商工会の事業に御理解と御協力を頂きたいと思えます。箕輪町の企業団体の最も大きな組織の一役員として、私なりに務めてまいります。御協力と御指導をよろしくお願い致します。

『行動として行動』

中部支会長 関 嘉重

井口（サンワ電化）上田（箕輪環境センター）二人の仕事ができ、良き友達の多い力づよい副支会長。各地区の前向きな考えをもち協力的な団長、常議員さんと話し合い相談し計画した事業を進め、今風のアイデアをとり入れながら支会活動をと思っております。またTMOの代表幹事の原（かじや）さんと連絡を密にとり「できる事から始めよう」を合言葉にし魅力ある街づくりに

行動として行動

それが自分達、そして後継者の為になると信じて!!

この様なかたちで大役をやらせていただいておりますが、役としての仕事をする事よりも、次の役員さんを選出する事のむずかしさに：：会員の皆様に考えてほしい!!

『支会の課題』

南部支会長 清水 静

将来的に支会のあり方が問われる時期が来るんじゃないかと言う気がします。支会の事業が、本当に支会の会員の為になっているのかと考えた時に、今は疑問を感じます。具体的には、支会のイベントにしても参加する会員が少ない。かといって、会員全員が参加できる様な事業は難しい。支会活動では、なかなか会員の活性化を図る事を実行していく事は難しいと実感しています。

これからの支会を運営する上で、常議員と話し合いを進める中、このような課題を検討して行かなければと感じています。

そして、支会が少しでも会員の皆様のお役に立てればと感じています。

魅力ある事業を

女性部長 小口 幸子

この度は、女性部長と云う大役をお引き受けることに成り、部員の皆様を始め、各役員、事務局のご協力をいただく中で、伝統ある箕輪町商工会女性部の発展のために、精一杯勤めさせていただきます。

今回部員の皆様と接し感じましたことは、私が十二年前に役をいたっていた頃に比べて、世代交代した若々しい部員の皆様が参加されて居り、女性部の健在さと力強い活力を感じました。

これからの事業の進め方は、各地区から選出された常任委員を経営、生活、文化の三本柱の委員会に各々担当していただき、各委員会の委員長を中心に企画運営をしていただきます。今後も前例の慣習にとらわれずに、時代のニーズに合った魅力ある事業が実施出来ますようご協力下さい。



部長抱負

青年部長 藤森 一哉

私が部長に就任してから、早いもので約一年半が経ちました。

青年部では、町のスローガンでもある「協働の町作り」にも見るように、

これからの時勢においては町民参加型の

箕輪町に変貌していくだろう、との考え方から、当初より社

会福祉・奉仕活動に重点を置き、通年の箕輪祭り・ふれあい広場への参加は勿論の事、

社協に講師をお願いしての福祉講習会や、最近では豪雨災害の復興の日への参加など、部員の協力の下に活動してきました。

また十月には、子供たちに科学に興味を持ってもらい工業・建設業に関与して貰えた

ら！と、町との共催でサイエンスショーを催します。

任期の残りも少なくなってきたが部長たちと頑張

って行きたいと思いを

機械要素展

工業部長 竹内 眞治

六月二十一日から二十三日の三日間、

は、機械部品の製造業者が一同に会して行なわれるもので、今年是全国より約七百三十社が展示され、三日間で約七万五千人の方が来場しました。

東京都有明の東京ビックサイトにおいて、第十回機械要素展が開催されました。

当町からは、伊藤製作所・共和・笑栄システム・ミカドテクノスの各社が展示した他、2グループが事業内容をPRしました。

出展社、来場者とも前年比四割以上の増加があり、実質的な商談につながる展示会として参加企業の意識も高いようです。

会員企業も出ており、商工会では来年度以降も、この展示会に対する出展支援を決定しています。

詳細については事務局まで。

TMO花いっぱい事業

TMO代表幹事 原 和男

空洞化する商店街活性化の切り札としてTMO(まちづくり機構)が町より認可を受けスタートして三年目に入りました。一年目の商業部と協賛のプレミアム商品券発売と日の出商工会のイルミネーションの点燈に始まり二年目はさらに、みのちゃんバス停用ペンチ作り、七夕祭り、町内案内マップ、花いっぱい事業と一つ一つは小さな事でも「できることから始めよう」と会員一丸となってやってきました。

以前から一部の地域で行わ

れてきました「花いっぱい事業」を商店街全域へと広げ、美しく明るいこの花が商店街の「顔」になればと思います。

花いっぱい事業の心は単に商店街に花を飾るのではなく、花を通じて店内から店先歩道まで清掃して気持ちよくお客様にお買い物をしていただくこととです。花は毎日水をやらなければすぐ枯れてしまいます。水をやりながら何か行動に移してください。きつと変わると思えます。活動ごと違っても意味は相通じると思えます。

町の「顔」ともいわれる商



店街は危機感でいっぱいです。TMOの今後の活動が生き残りをかけた最後のチャンスと言っても過言ではないと思えます。今後とも会員皆様のアイデアと御協力をお願い致します。



女性部活動

部員研修

木曾路の旅

文化部長 熊谷久仁子

今回の研修の一つでもある

南木曾の「ホテル木曾路」に昼前到着。桜のジュータンの広間に通され支配人さんより、この木曾の地にリゾート開発されたこれまでの経過等の講話をお聞きしました。木曾の山からセラミックス原料の一つ花崗岩を採掘し、その跡地を有効利用する事に力を入れているのだそうです。ホテルの周辺は、花桃や緑の木々、そしてオーナーさんを募集し



て毎年植樹し続けている桜の木。まだ若い木々ですが、いずれは、高遠の桜を越えたいと大きな夢を語ってくださいました。その後食事と温泉森林浴と心身共にリフレッシュ出来た一日になりました。

女性模擬議会に参加して

女性部長 小口 幸子

八月二十四日、女性団体連絡協議会主催の模擬議会が、町のご協力により開催されました。商工会女性部として、部員の皆様にアンケート等でご意見も伺いましたが、その意見等も参考にし、また商工会のご指導もいただきながら質問内容を検討いたしました。模擬議会には、副部長の浦野美保子さんに質問者として登壇していただき、一日議員として緊張の内にも、貴重な体験をさせていただきました。当日の質問内容と、町答弁を要約して掲載いたします。

質問 中心市街地活性化法の改正に対する町の対策と、町内の中心市街地として要件を満たす地域は。

箕輪町においても、国道バイパス開通により、バイパス沿線に郊外型の大型小売店舗

が進出し、旧中心市街地の古くからの既存商店街は衰退し、空店舗が目立つのが現状です。今回地方都市の中心市街地の衰退を食い止め、中心市街地の地域活性化を図る目的として、「都市計画法」「中心市街地活性化法」「大規模小売店舗立地法」の三法が改正され、郊外への無秩序な開発を抑制し、国と県による広域的観点から都市計画区域を見直すこと。また郊外型から中心市街地を中心に地域住民が、歩いて暮らせるコンパクト・シティー的な施設の充実、住民参加型の協議会の立上げ、基本計画の認定制度、それに対する支援制度等、自治体の取組次第で、中心市街地の活性化が計られるのではないかと思います。町の方針、計画を伺います。

町長 旧市街地活性化は町の大きな課題ととらえている。旧市街地の範囲は、松島駅周辺から木下駅までの153号沿線が該当となる。商工会を中心にTMOネットワークにより2004年より活性化策が展開されているが、行政主導より、地域住民や業者が主導で取組みをされるのが、

理想と考える。



質問 大型空き店舗の有効活用について

町内にある大型空店舗は、中心街でもあり、地理的利便性もあり、現在まで何の活用もなく、放置されている状況は非常に残念に思われます。その内の一ヶ所は7月の豪雨災害時にボランティア・センターの拠点として、短期間ではありましたが活用され、当事者の皆様方は元より、町民からもすばらしい有意義な活用であったと、評価を受けています。こうした実績からも町民の意向を取り入れた、福祉施設や、町民活動の多目的

な拠点として、活用出来ないでしょうか。

町長 空き店舗の活用は多くが望むことだが、地主や地権者などの制約により利用実現までには至っていない。今後行政へ、利用への意向があれば積極的に考えて行く。

質問 高齢化社会に対応する一集落一店舗の誘致に付いて

昔は一つの集落に一店舗くらい、雑貨や、食料品を売っている店がありました。近年、大型店の出店により、小さな地元の小売店は、次々に廃業し、地元根付いた「おなじみの店」がなくなりました。今後高齢化、核家族が進み車に乗れない人は、人を介さないと食べる物も手に入れないと成ります。こうした状況を少しでも改善し、独り暮らしの家庭、老人だけの家庭にも歩いて買物の出来る方法がとれないものでしょうか。巡回型の店、昔の御用聞き的なシステムの委託等。

町長 採算を見るとなかなか難しいが、高齢者のマーケットは今後有望と考えられているので事業者のやり方次第で市場とし見直されるのではないか。

去る八月二十七日社協主催による「ふれあい広場」が開催された。我々青年部は食品販売ブースにて、大福、どら焼などの販売を担当、誰もが暮らしやすい豊かな福祉の町づくりについて考え行動することを目的としたこのイベントその思いが「広がり」「人と人とのふれあいや交流が「輪」をつくり、販売会場となった松島公民館、又イベント会場となった町民体育館は大勢の来客で賑わった。福祉に感心をもつ人が増えつつある中「ぼくらになにができるのか」を考え行動していきたい。

青年部活動 広がる人の輪の中で

米村でんじろうサイエンスプロダクション
チャーリー西村の

サイエンスショー

10月15日(日)

箕輪町文化センター

	午前の部	午後の部
開場	10時30分	2時30分
開演	11時00分	3時00分

テレビで見たあんな実験、
雑誌に載ってたこんな実験が……

実際に見れ
ちゃう！
さあ～
文化センター
に集合!!



八場無料!!

ご利用ください。

建設業部

技能講習会等受講への 助成金交付制度

各関係機関が実施する技能講習等に直接参加受講した場合、
交付要項に従い会員事業所に助成しています。

あなたの 「やる気」 を応援します!!

相談無料!!
秘密厳守



シニアアドバイザー事業 エキスパートバンク事業

ご利用
できる方

経営革新（新たな取り組み）を考えている方

新商品の開発・生産、商品の新たな生産・販売方法の導入、新たなサービスの開発・提供、サービスの新たな提供方法の導入その他の新たな事業活動などに取り組もうとする方

創業を予定・検討されている方

事業計画、資金計画・調達、開業手続き（許認可・届出）、公的支援施策利用などの相談・助言・情報提供

支援内容
（無料）

① 窓口相談

窓口専門家・シニアアドバイザー等が、創業を目指す方、経営の新たな取り組みを目指す中小企業者の皆様のご相談に応じます。

② 専門家派遣

創業を予定される方、経営革新計画の承認を目指す中小企業者の皆様、その過程で個別具体的な課題に直面した際に、その解決にアドバイスを与える専門家を派遣します。

③ 情報提供

創業及び経営革新計画の承認に必要な情報、ノウハウ等を提供します。

お問い合わせ先

〒399-4601
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10286の1

箕輪町商工会

TEL 0265-79-2117
FAX 0265-79-0380

プレミアム商品券

発売中

商業部会では、一昨年昨年
に引き続き大好評であった
プレミアム商品券発行业を
今年度はTMOとの共催で実
施しております。

プレミアム商品券の有効期
間は八月六日から十月九日ま
での二ヶ月間で、事前登録し

ていただいた町内の約百店で
ご使用いただけます。

発売初日の八月六日には、
商工会館前にてセット購入数
に合わせて空くじなしのスピ
ードクジを実施し、数日で販
売総数二千セット（二千二百
万円分）を完売致しました。



商圏人口と
地元滞留率の
減少傾向に歯
止めをかけ、
個人消費の喚
起と財貨の町
外流出を防ぐ
ことを目的と
して企画され
たこの事業を
さらに消費者
の皆様からの
声に耳を傾け
よりよい商業
立町を目指し
ていきたいと
思っております。

プレミアム
¥1,000

知らず知らずのうちに貯蓄ができる!!

一つの掛金で
3つの備え

毎月わずかな掛金で大きな安心



商工貯蓄共済は、「貯蓄」「融資」「保障（集団定期保険）」の3つの機能を組み合わせた、商工会会員及びそのご家族、従業員のみなさまのための、商工会独自の共済制度です。掛金の一部を保険料にまわし、保険契約が結ばれることにより、万一の場合を保障されるとともに、掛金のほとんどは貯蓄積立金として金融機関に預けられ、利息がついて皆様のお手元に戻る仕組みとなっております。

また、資金が必要な際には、融資のあっせんを受けることもできます。

商工貯蓄共済は

資金の蓄積

融資のあっせん

生命事故の保障

の3つの特色を組合せた
商工会会員のための
共済制度です。

加入できる人（加入者=積立をする人）
商工会の会員・家族・従業員

生命保障の対象となる人（被保険者）
商工会の会員・家族・従業員で5才7ヵ月から
65才6ヵ月までの健康な方

加入期間
10年間

加入者数
被保険者1人につき20口まで（1口2,000円）

貯蓄積立金および利息
貯蓄積立金は、銀行の1年定期預金扱いで
複利となります。

貯蓄積立金の返戻
満期時：満期時には、10年間の貯蓄積
立金元利合計をお返しします。
中途解約時：途中で解約される場合は、そ
れまでの貯蓄積立金元利合計
をお返しします。

加入者配当金の返戻
毎年決算状況に応じ、納付保険料の一部が
積立てられ、満期時等に返戻されます。

会報編集委員

委員長	黒田重行
副委員長	赤羽治
委員	福田吉久
委員	小澤宏幸
委員	小林幸子
委員	小口幸子
事務局	松崎勉

今回の二十一号で掲載を予定していた「みのわ祭り」も中止となり、本年度もすでに半分を経過してしまいました。7月の豪雨の際、災害に遭われた方々には謹んでお見舞いを申しあげます。編集委員会も新役員となり、戸惑いながらもなんとか本号が発刊されるに至ったことについては嬉しい限りであります。

編集に当たっては、なるべく明るい話題を。出来るだけ皆さんの声を。そして写真を多く掲載し視覚に訴えるよう努力したいと思えます。

そして、この会報が少しでも皆さんの一助になればと願っています。

